

埼玉県学力・学習状況調査（小学校）

復習シート 第六学年 国語



組	番号	名前
---	----	----

【主語・述語の問題】

① 次の文中の主語と述語を選び、それぞれ、記号を書きぬきましよう。 **レベル9**

① 白く 大きな 雲が ゆっくりと 流れている。

主語	述語
----	----

② 私も 兄のように 早く サッカーを 習いたい。

主語	述語
----	----

③ 今日の 昼から 雨が 降るそうだ。

主語	述語
----	----

【同音の正しい漢字を選択する問題】

② 次の文の——線部に当てはまる漢字を、下の（ ）から一つ選んで、丸をつけましよう。 **レベル3～5**

① 衛セ面に 気を付けて 手を洗う。（生 清 星）

② 苦手な 部分を くり返し フく習する。（複 副 復）

③ Aチームが 優勝したのは イ外だった。（意 位 以）

【同音の正しい漢字を選択する問題】

③ 次の言葉と同じ意味をもつ言葉を、下の（ ）から一つ選んで、丸をつけましよう。 **レベル2**

① 長所（側面 美点 良心 欠点）

② 進展（進行 展開 進退 発展）

【熟語の漢字の組み合わせの説明として適切なものを選択する問題】

④ 次の熟語の構成はどのようなものですか。ア～エの中からえらび、記号を書きましよう。

レベル6

① 変化

② 早朝

- ア 似た意味を表す漢字を組み合わせたもの
- イ 「くを」「くに」に当たる意味の漢字が下にくるもの
- ウ 上の漢字が下の漢字をくわしくしているもの
- エ 上の漢字が下の漢字の意味を打ち消しているもの

【漢字辞典の引き方を選択する問題】

⑤ 次の漢字を漢字辞典でひくとき、何のさく引で調べればよいですか。それぞれの場合に合う漢字辞典の引き方をア～ウから選び、記号を書きましょう。

レベル7

① 「願」の部首が「おおがい」と分かっているとき

② 「必」の部首も読み方も分からないとき

③ 「機」の読み方が「キ」と分かっているとき

- ア 部首さく引
- イ 音訓さく引
- ウ 総画さく引

【接続語の問題】

⑥ 次の文中の（ ）に合う言葉を から選んで書きましよう。

レベル4

① 新聞を読むときは、記事だけではなく写真や図も読み取らなければならない。
（ ） 、さまざまなものを関係づけて、書き手からのメッセージを読み取る必要があるのだ。

③ わたしは、この道に街灯があつたらよいと思う。（ ）
（ ） この道路は夜になると真っ暗になるからだ。

- けれども
- つまり
- だから
- なぜなら
- たとえば

埼玉県学力・学習状況調査（小学校）

復習シート 第六学年 国語



組
番号
名前

【質問の意図をとらえたり、計画的に話し合うために司会の役割について考える問題】

- 1 松山さんの学級では、自分たちの言葉の使い方を見直すために、立場を決めて話し合うことにしました。次は、そのときの【話し合の様子の一部】です。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【話し合の様子の一部】

司会 自分たちの言葉の使い方を見直すために、今日は「生活の中で使っている言葉はみだれているか」について三人の代表の人に考えを発表してもらいます。そして、その意見をもとにして、自分はこのから言葉をどう使っていくとよいかについて全員で話し合い、考えていきましょう。それでは田中さんから、発表をお願いします。

田中 ぼくは、言葉はみだれていると思います。調べてみると、本来の意味とは異なる使われ方をしている言葉があるということが分かったからです。文化庁の「国語に関する世論調査」では、「役不足」という言葉について、「本人の力量に対して役目が軽すぎる」という本来の意味を選んだ人は四十一・六パーセントでした。半数以上の人は、本来の意味とは異なる使われ方をしているようです。

北川 私も、言葉はみだれていると思います。なぜなら、言葉を省略して話す人が多いためです。例えば、「今年もよろしく願います」を「ことよろ」ということがあります。省略すると相手や場に合っていない言葉になったり、意味が分からなくなったりすることがあると思います。

小池 私は、言葉はみだれていないと思います。例えば、「全然」は「全然ない」のように、あとに打ち消しの言葉がくるときに使うことが多いのですが、最近では、「全然いい」という使い方をする人もいます。また、辞書によると、あとにくるのが打消しの言葉に限らない時期もあったそうです。このように、時代によって言葉の使われ方は変わるから、今までとはちがう使われ方だとしても、言葉がみだれているとは思いません。

司会 ありがとうございます。それぞれの発表に対して質問はありませんか。

★木村 小池さんに質問があります。時代によって使われ方が変わった言葉は、「全然」以外にどのようなものがありますか。

埼玉県学力・学習状況調査（小学校）

復習シート 第六学年 国語



組	番号	名前
---	----	----

【目的や意図に応じて、資料を活用しながら話し方を工夫したり、質問したりする問題】

1 丸山さんは、自然とくらしについて調べ、【写真①】と【写真②】を使って発表しまし

た。【発表原稿】げんこうを読んで、あとの問いに答えましょう。

【写真①】	雪国の家の写真	【写真②】	沖縄の家の写真
-------	---------	-------	---------

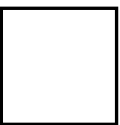
【発表原稿】

発表の仕方	話す内容
ア	ビルやマンションの屋根は、平らになっているものが多くあります。
イ	また、屋根全体が三角形の形になっている家もあります。みなさんは、どんな形の屋根を見たことがありますか。
ウ	屋根には、いろいろな形があります。わたしは、各地の屋根の写真をたくさん集めて、日本地図に置いてみました。 すると、屋根には、その地方の自然に合わせた特色があることが分かりました。調べたことの中から二種類の屋根について話します。
エ	この屋根の角度は、急になっています。雪の多い地方では、このような屋根の家が見られます。なぜ、このように角度が急になっているのだと思いますか。

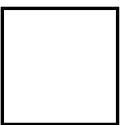
発表の仕方	話す内容
<p>しばらく時間をおく</p> <p style="text-align: center;">エ</p> <p>聞き手の反応を見る</p> <p style="text-align: center;">オ</p>	<p>それは、できるだけ、雪が屋根に積もらないようにするためです。雪は、たくさん積もると家をおしつぶすぐらいの重さになります。ですから、雪に備えるくふうの一つとして、屋根の角度を急にしています。さらに、積もった雪を熱でとかして流すなど、いろいろなくふうがあります。</p> <p>これは、角度がゆるやかな屋根です。どうしてこんなにゆるやかなのだと思いますか。</p> <p>このような屋根が見られる地方は、台風の進路にあたることが多く、強い風から家を守る必要があります。屋根の角度が急であると、風をまともに受けてしまいます。だから、屋根の角度をゆるやかにして、台風のひがいをできるだけ受けないようにしているのです。かわらは、跳ばないように固めています。</p> <p>このように、家の屋根には、雪や台風などによるひがいに備えて、いろいろとくふうして作られているものがあります。</p>

一 丸山さんは、発表をするときに、二枚の写真をそれぞれの場面で示せばよいか考えました。【発表原稿】の中で、【写真①を示す】・【写真②を示す】がはいるところを、アからオまでの中からそれぞれ一か所選んで、その記号を書きましょう。

【写真①】

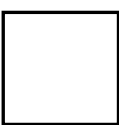


【写真②】



二 丸山さんの学級では、聞き手からの質問には、次の1から4までのような種類があるということを学習しました。そこで、大野さんは、あとの のように質問しました。大野さんは、1から4までのうち、どの種類の質問をしていますか。最もふさわしいものを一つ選んで、その番号を書きましょう。

レベル9



【質問の種類】

- 1 話し手が調べたことの中で最も伝えたかった内容を引き出そうとする質問。
- 2 話し手が発表したことに対する自分の理解が正しいかを確かめようとする質問。
- 3 話し手が材料を集めたり整理したりしたときのくふうを聞き出そうとする質問。
- 4 話し手が調べたことと、自分が調べたこととを関係付けようとする質問。

【大野さんの質問】

写真を使っていたので、説明がよく分かりました。たくさん写真は、どのようにして集めたのですか。また、なぜ、その二枚を選んだのですか。

復習シート 第六学年 国語



組	番号	名前

【物語を読んで答える問題】

1 次の文を読んで、後の問いに答えなさい。

わたしは、この平野をよこぎって、むこうのウメアという村にとまるつごうにしています。ところが、午後ウメアのひとつてまえの駅舎まできますと、二頭しかない馬が、二人づれの材木商ざいもくしょうの旅客りよきやくに借りられたそうで、わたしは、夜七時まで、むなしくそこで待っていました。ところが馬はまだかえってきません。わたしは気がせくので、そこいらの農家をさがしてまわり、ようやく一頭の馬を見つけられました。

駅ざいもくやの番人は材木屋ざいもくやといっしよに乗っていったそうで、かみさんができて、わたしの馬にかいばをくれました。ここからウメアまではまだ二十マイルもあるのです。もうとちゅうには、食事をするところもないので、ぜひここで晩飯ばんめしを食べてでなくてはなりません。それで、番人のかみさんにたのみますと、かみさんは、ころよく、家へつれていき、火のそばにすわらせて、おいしいコーヒート、ジャガイモと、となかいの肉のやいたのをだしてくれました。その家は、大きな黒い森のそばにたっているのです。食事をしていると、きゅうにうしろのその森の中で、ごおうごおうごおうと、北風が木ぎをゆすつてうなりはじめました。かみさんは、

「おやおや、ひどい風ができましたね。わるい晩ですこと。これじゃうちの人は、たぶん、ウメアにとまってあしたの朝でなければかえりません。むこうへおつきになったら、きつと駅舎にいますでしょう。かわりにラルスをつけておあげします。ラルスはあすの朝、うちの人といっしよにかえればいいんです。」といいます。

「ラルスというのはだれです。」と聞きかえしますと、

「手まえどもの子どもですよ。あいにく近所にも、だれもおともをするものがいませんので……。ラルスはいま馬のくらづけをしております。」とかみさんは答えました。

と、ちようど、それとどうじに戸口があいて、十二ばかりの小さな男の子がはいって

来ました。きぬのたばのようになった金色の髪かみのまき毛を、顔のうしろにふさふさとかぶった、ほほのまっ赤な円い青いきれいな目をしたかわいい子どもです。わたしはかみさんが、こんな嵐の晩に、こんな小さな子どもをよくへいきでだすものだとおどろきました。「ラルス、ここへおいで。」と、わたしは、その子の手をとり、

「おまえ、こんな晩にでていくのは、こわいだろう？」と聞きました。子どもは、きよとんと目を見はつて、ほほえんでいます。かみさんはここにこわらつて、

「なに、この子どもだつてだいじょうぶ。おともをします。嵐がつよくさえならなければ、十一時ごろまでにはウメアにおつきになれますよ。」と、わたしが、この子でまにあうかどうかとうたがいでもしたようにべんかいです。わたしは、どうも風がごうごうなるのが心配でたまりませんでした。思いついて子定をかえて、今晚はこの村へとまろうかと考えかけました。しかしラルスはへいきで、もうどんどんひつじの毛皮のがいとうを着、毛皮のとりうちぼうしの両側のたれをおろしてあごにくくり、あつい毛おりのえりまきを、目ばかりのこして顔中にまきつけます。母親はストーブの上にかわかしてある、うさぎの毛皮のあつい手ぶくろをとってわたししました。ラルスは、すばやくそれをはめて、短い、なめし皮のむちをとりあげて、わたしを待っています。

(鈴木三重吉「少年駅夫」より)

問一 「むなしくそこで待っていました。」とありますが、わたしは何を待っていたのでしょうか。次の1から3までの中から一つ選び、その番号を書きましよう。

- 1 材木商の旅客
- 2 かみさん
- 3 馬

レベル6

問二 _____ とありますが、わたしのどんな行動から、かみさんはわたしにこのように言ったのでしょうか。文中から一文を書きぬきましよう。

レベル9

